

## 平成29年度 実施事業の概要

施設名： 国立妙高青少年自然の家

教育事業名：

「NEAL 自然体験活動指導者（リーダー）養成研修（前期）」兼「MYOKO ボランティア養成研修」

期間： 5月19日（金）～5月21日（日） （2泊3日）

対象及び参加人数： 自然体験活動や青少年教育に興味関心のある者 44名（内8名はNEALのみ）

目的：

自然体験活動の指導者を養成し、青少年をはじめとする多くの人々の自然体験活動を推進する「NEAL 自然体験活動指導者（リーダー）」（以下「NEALリーダー」と呼ぶ）と、全国28施設の国立青少年教育施設でボランティア活動が行える「法人ボランティア養成カリキュラム」の科目履修互換制度試行事業として、「NEALリーダー」及び「法人ボランティア」の普及を図る講習を実施する。

また、講義・演習を通して、自然体験活動指導者及び国立妙高青少年自然の家でのボランティアの資質向上を図るとともに、実践の場を通して、専門性を高める。

事業概要：

自然体験活動指導者（NEALリーダー）と青少年教育振興機構の法人ボランティアの養成カリキュラム互換事業として実施し、NEALリーダー及び法人ボランティアの養成・普及を図る。

成果：

機構の共通カリキュラムをもとに事業を推進する中で、ボランティアに対する理論や知識を習得するとともに、アイスブレイクを行い、44名の参加者のコミュニケーションが十分にとれるように進めた。平成28年から実施している、「妙高独自の指導者養成制度の構築」の一環で作成した、「MYOKO ボランティアビジョン」の階層を説明し、ボランティアが養成後の見通しを持てるよう内容を工夫した。

ボランティアの養成という人材育成的な視点から、先輩ボランティアが参加者の身近な手本となるよう、グループのリーダーに配置した。新潟青陵大、信州大、上越教育大と3つの大学が相互に関わる状況を活かし、多様性のある効果的なグループワークを展開することができた。

NEALリーダーの養成に関しては、大学生に加えて地域で活躍するNPO法人等の職員に参加を得た。地域連携に必要な人材として、今後の活躍を期待したい。



真剣に打合せする先輩ボランティア

協力してびっくり野外炊事に挑戦

NEALリーダーの実技指導の一場面

課題：

ボランティア養成に関しては、一定の新規ボランティアの確保ができており、引き続き実施していきたい。日程に関して、隣接する信州高遠青少年自然の家の日程と重複してしまったため、連絡及び調整を図りたいと考えている。NEALリーダーの養成に関しては、実際に研修内容を必要とする参加者と、単位履修等の大学生との間に、研修意図の違いが見て取れる。この点に関しては、事業形態の見直しも含めて検討をする必要が在ると考えられる。